

# 自然と人間が調和する 琵琶湖のすばらしさを 歌にのせて伝えたい。

シンガーソングライター

## 加藤 登紀子さん

1943年生まれ。滋賀ふるさと大使。

1971年に発売した「琵琶湖周航の歌」がヒット。2017年は「人生の始まりと終わり ひばりとピアフ」を自らの脚本、演出、語り、歌でコンサートを行う。

「琵琶湖周航の歌」100周年を記念して、加藤登紀子さんプロデュースの「第1回びわ湖音楽祭」が今年6月に開催されます。琵琶湖に深い思い入れを持つ加藤さんに滋賀の魅力、そして歌に託す思いをうかがいました。

### 心の底にしみる旅をして 知るほどに奥が深い滋賀

曾祖父は守山市木浜の出身で京都で呉服商として成功し、故郷の小学校にランドピアノを寄付するなど立派な人だったと父はとても誇りにしていらした。父からその話を聞かされていたので、中国・ハルビン生まれで京都市育ちの私も滋賀を故郷のように感じています。

15年ほど前、子どもたちが琵琶湖で遊ぶ機会が減ったと聞き、子どもたちと琵琶湖の距離を縮めたいと思い「生きている琵琶湖」という歌を作りました。そのとき、琵琶湖をもっとよく知ろうと思いい、滋賀を旅して回りました。沖島で漁師さんの家に泊まった翌朝、船の上から見た明け方の琵琶湖や、子どもたちに案内された小学校跡地の丘の上から眺めた風景も忘れ

られません。高島の浜辺で子どもたちと石拾いをし、無口な男の子が私の掌に琵琶湖の形をした小石をそっとのせてくれました。そのときの嬉しさを今も鮮明に覚えています。

今も滋賀にはよく訪れ、先日は孫たちと一緒に比叡山延暦寺の東塔から西塔まで山道を歩きました。滋賀に来るたび心にしみるいい時間を過ごし、すばらしい旅を経験しています。

### 日本の大事な故郷 琵琶湖への思いを歌う

滋賀、そして琵琶湖は、自然と人間がこんなにすばらしく調和していけるといってお手本のよくな場所。琵琶湖が育んできた自然の美しさと文化の豊かさを、いろんな方に味わってほしいと思っています。

滋賀にルーツを持つ私にとっ



縁の深い「琵琶湖周航の歌」は今年100周年。琵琶湖を守っていこうという人々の思いが広がり、そのシンボルとしてこの歌が歌い継がれてほしいと願っています。

### 加藤登紀子さんコンサート情報

- 6月30日(金) /びわ湖ホール  
～第1回びわ湖音楽祭～
- 詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.tokiko.com/>

### PRESENT

加藤登紀子さんのサイン入り  
「琵琶湖周航の歌」CDを  
プレゼント!



※プレゼントの詳細は15ページ「ほっとサロン」にて ※写真はイメージです。